分 類　学習支援

職場訪問（７年生）職業体験（８年生）

事業の背景・目的

学校・家庭・地域社会・各事業所で協力・連携することにより、校内ではできない職業に関する体験学習を実施し、生徒が働くことの価値や社会のルール、一般常識の大切さについて考え・学ぶことを目的とした。

事業の概要

職場訪問・・・グループで企業を訪問し、インタビューを実施。
職場体験・・・さまざまな事業所で、２日間にわたり、仕事を体験。

特徴および工夫した点

小グループ、少人数で生徒が主体的に、責任をもって学習ができるように、できるだけ多く地域の事業所に協力していただいた。（訪問：２０　体験：４７）

成　果

生徒にとって、地域の方々と直接ふれあうことで、働くことへのイメージが具体的になり、より深い学びとなった。

今後の展望

多様な業種、人にかかっていただけるよう協力者を増やす努力をする。

児童・生徒の感想

・企業を訪問し、直接お話を聞くことで、楽しく学ぶことができた。
・仕事の体験を通じて、将来の進路を考えるきっかけとなった。

学校紹介
学校名　品川区立東海中学校
校長名　蜂屋　隆子
住所　品川区東品川３-30-15
電話　03-3471-6951
URL　https://school.cts.ne.jp/tokai/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成３０年度
登録ボランティア数　６名
学校地域コーディネーター　月岡　明希子

分 類　その他（行事支援、地域連携）

「大崎防災まち歩き」のボランティア活動への支援

事業の背景・目的

関東大震災から１００年という節目の本年、大崎地区での新たな試みである地域住民が主体の「大崎防災まち歩き」のイベントが行われた。そこに大崎中学校の生徒がボランティアとして参加し、地域防災について学ぶ取組をコーディネートし、学校と地域を繋ぐ。

事業の概要

「大崎防災まち歩き」の来訪者が参加できる体験のうち、ランプ（食用油を活用したもので、停電時に役立つランプ）の作り方を地域の方々と共に生徒がイベントの一般参加者に伝授する。

特徴および工夫した点

体験する方々にしっかりと「ランプ作り」の方法をお教えできるよう、事前に地域の方々と詳細な打合せの機会を設けて準備を進めたこと。

成　果

生徒が体験する中で地域防災のことを知るきっかけとなったり、地域の方々との交流を深めたりして、学校と地域を繋ぐ役割を果たすことが出来た。

今後の展望

今後はさらに多くの生徒が地域の一員としての自覚をもち、地域防災の活動などに参加しやすくなるように努めたい。

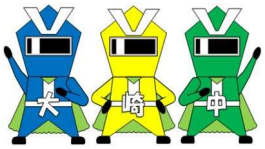
児童・生徒の感想

大きな地震から 100 年とのことで、改めて防災をして大切な命を守っていこうと考えました。簡単に作れるランプなので、非常時に使えるように覚えました。地域の方々とたくさん関わることができて良かったです。

学校紹介

学校名　品川区立大崎中学校
校長名　菊地　信江
住所　品川区西品川 3-10-6
電話　03-3491-6623
URL　https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 30 年度
登録ボランティア数　43 名
学校地域コーディネーター　深田　とし子

サキチューレンジャー



分 類　その他（地域連携）

～浜中生のおもてなし～

浜川まつり

事業の背景・目的

浜中生が地域にデビューし、地域との交流の場として平成２５年から取り組んできたまつり。今では地域の方にできる「おもてなし」を考え、形にしてきた。コロナ禍で２年間できなかったが今年はできることを工夫して実施

事業の概要

浜中校庭にて、ゲームコーナー、体験コーナーを設ける。コーナー運営はボランティアで募集した生徒、教職員、PTA の他、エネカフェメタンの会、大井警察署、大井消防署などの地域団体や行政機関。来場者は近隣の小学校（鮫浜小・立会小・浜川小）の児童中心。

特徴および工夫した点

まだコロナ禍が収まっていない中での実施で感染症対策を一番に検討。定員を決め、来場に関しては事前申込制とし、「こくちーず」を採用。会場が混雑することもあまりなく人数把握できたことで材料などの無駄な準備をしなくてよかった。校区教育協働委員会の委員にも体験コーナーを担当してもらった

成　果

生徒たちが「地域との交流」「楽しいことを学校全体で取り組めたこと」を経験できたこと。地域支援本部の活動ができたこと。

今後の展望

実行委員に地域の方や、PTA に積極的に係わってもらいたい。この活動を機会にコミュニティ・スクールの存在や意義が地域に伝わるように工夫したい。

児童・生徒の感想

やりたいことをやることができてよかった。ありがとうと言ってもらえてうれしかった。よい経験になった。地域の人におもてなしができてよかった。

学校紹介
学校名　品川区立浜川中学校
校長名　柳岡　裕幸
住所　品川区東大井 3-18-24
電話　03-3761-1014
URL　https://school.cts.ne.jp/hama-j/index.html
品川コミュニティ・スクール設置年度　28 年度
登録ボランティア数　30 名
学校地域コーディネーター　巻島　淳子

はまりょう

分 類　学習支援

～明るい図書館で、みんな一緒に試験勉強！！～

品川地域未来塾【ＳＪセミナー】

事業の背景・目的

自ら課題をもった生徒や家庭での学習が困難な生徒に対して、彼らが安心して勉強できる環境を継続的に提供することで、生徒たち自身が学習意欲を高め、更には彼らの学力向上につなげることを目的とした。

事業の概要

明るく開放的な学校図書館で、異学年の生徒が一緒に自主学習できることが特徴。１日２時間、各自の予定に合わせて自由に入退室可能、１～３名ずつ配置した学習支援ボランティア指導員が、生徒を見守ると同時に必要に応じて助言や指導を行った。

特徴および工夫した点

昨年度の「定期考査１週間前より実施」から今年度は「２週間前」に変更し、より計画的に学習する習慣を身につけることができるよう工夫した。また、夏期休業中は前半６日間及び後半５日間実施し、宿題や課題に対応できるような日程とした。

成　果

定期考査に向けて、学校の学習計画に沿って利用する生徒が増えた。徐々に計画的な学習習慣が身に付いている。

今後の展望

学習指導のできる指導員を増員し、分からない所を教えてもらえることで更に学習意欲を高めていきたい。

児童・生徒の感想

友達と一緒に勉強できる・家より集中できる・分からないところを教えてもらえる・勉強しやすい環境…などの感想が寄せられた。

学校紹介
学校名　品川区立鈴ケ森中学校
校長名　滝沢　二三雄
住　所　品川区南大井２－３－１４
電　話　０３－３７６５－２８４９
ＵＲＬ　http://school.cts.ne.jp/suzu-j/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　25 名
学校地域コーディネーター　奥田　智子

分 類　その他（ 行事支援・地域連携 ）

中学生が地域の防災を担う

冨士見台中学校　学生消火隊の結成

事業の背景・目的

コロナ禍でD級ポンプの取り扱いを学ぶ機会がなくなっていたため今年から活動再開した。生徒がＤ級ポンプの取扱いができるようになることを目標に行った。

事業の概要

学生消火隊を結成し、当該生徒がD級ポンプの取扱いを学ぶ。
第三地域防災訓練での地域・学生消火隊の操法訓練に向けて訓練を行った。

特徴および工夫した点

D級ポンプ指導ができる人材がいなくなったため消防団員である自分が指導した。消防について興味をもち生徒が主体的に活動できるような環境づくりをした。

成　果

第三地域防災訓練ではとても上手に操法ができた。訓練から生徒が楽しそうに大きな声で主体的に活動していたことが１番の成果だった。

今後の展望

学生消火隊の結成から訓練までが約１か月間しかなかったので、D級ポンプの取り扱いを身に着けるためにもより長いスパンで活動したい。

児童・生徒の感想

（児童・生徒の感想）皆楽しかったと言っていた。

学校紹介
学校名　品川区立冨士見台中学校
校長名　石黒　晋
住所　品川区西大井 5-5-14
電話　03-3772-0900
URL　http://school.cts.ne.jp/fujimi/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　０名
学校地域コーディネーター　鈴木　雅也

分 類　その他（ 地域連携 ）

中学校区の児童・生徒の健全育成を目指し地域、保護者、学校の連携について

コロナ禍を経て～地域と児童・学校の交流～

事業の背景・目的

今年コロナ禍で途絶えていた地域行事が再開したところも多く、生徒と地域を結ぶテーマにしたいと考えた。 重点テーマとして「より良い社会や街をつくるために私たちができること」

事業の概要

地域健全育成運営協議会兼品川コミュニティー・スクールＤＡＹ

特徴および工夫した点

会話が弾むようグループ協議から、全体の発表にして、一体感のある会になるように工夫をした。（ABCDE グループ：地域における危機管理、FGHIJ グループ：つながる町会行事）

成　果

生徒と地域の大人と熟議の中で様々な課題が出て、今後の地域での活動について検討できた。

今後の展望

次年度以降も生徒と地域の方々と話し合いができる環境をつくっていく。

児童・生徒の感想

地域の活動など自分が住んでいる地域のことを知ることができた。自分たちが、どの様に地域と関わればよいか考える機会になった。

学校紹介　学校名　品川区立荏原第一中学校学校
校長名　黒田　佳昌
住所　品川区荏原 1-24-30
電話　03-3785-1680
URL　https://school.cts.ne.jp/ebara1
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 29 年度
登録ボランティア数　２名
学校地域コーディネーター　杉本　将輝

分 類　環境整備支援

職場体験を再開しました

環境整備支援

事業の背景・目的

３ 年間実施することができなかった職場体験を実施するために準備をして、体験当日の支援を行った。職場体験は地域との連携が欠かせず、その調整は数か月前から必要である。また、事前学習で職場の様子を押してもらう講師も準備が必要だった。

事業の概要

地域の商店街を中心に職場体験をうけいれてくれる事業所を、生徒のニーズに合わせて探す。また、職場からの要望等を学校に伝え、調整することが必要だった。

特徴および工夫した点

職場によっては向いている人もいれば、そうでない人もいるので、なるべく幅広く集める必要があった。また、事前に生徒のアンケートを実施して、どのような希望が多いのかも考慮した。学校の考え方を聞いて、職場選びを勧めた。

成　果

生徒からは、非常に多くを学べたことが伝わってきた。また職場からも事後アンケートでかなり好評であった。

今後の展望

更に職場体験の位置づけ、効果等を学校と相談して、職場の人にも伝えて、目的を共有することで教育効果を上げていきたい。

児童・生徒の感想

普段とは立場が逆になったからこそ、分かったことがたくさんあって、勉強になった。

学校紹介
学校名　品川区立荏原第五中学校
校長名　夏井　真一
住所　品川区旗の台五丁目１１番１３号
電話　03-3781-5643
URL　http://school.cts.ne.jp/ebara5/index.html
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２９年度
登録ボランティア数　29 名
学校地域コーディネーター　飯田　慶子

分 類　その他（ 行事支援、地域連携 ）

生徒が愛着をもって育てた花たちは地域でも好評です。

生徒のボランティア活動『ハートウォーミング六中』

事業の背景・目的

・体育館脇の歩道沿いに花壇を作ることで、地域環境の美化向上を目的としている。
・生徒が主体的に整備・育成する事で、愛校精神を醸成させるとともに、ボランティアの意義を理解させる。

事業の概要

ハートウォーミング六中という生徒会を中心とした生徒のボランティア活動の一環で、毎日の水やりの他に年に２回放課後に花壇の花の植え替えを行っている。

特徴および工夫した点

地域の方や卒業生の保護者に事前準備や当日の支援をお願いし、学校と地域が連携して活動を行っている点。

成　果

・学校の周りに植えているたくさんの花は地域の方からもとても喜ばれている。
・歩道沿いのゴミのポイ捨ての激減し、生徒の愛校精神やボランティアマインドが向上した。

今後の展望

・毎日の水やりに加えて、雑草取りも組み込んでいきたい。
・花壇の花の説明の絵も生徒が作るようにしていきたい。

生徒の感想

・自然と触れ合える良い機会になりました。
・花の配置から考えたことで、普段の水やりにも愛情をもって真剣に取り組めるようになりました。

学校紹介
学校名　品川区立荏原第六中学校
校長名　伊藤　惠造
住所　品川区小山 5-20-19
電話　03-3781-7776
URL　http://school.cts.ne.jp/ebara6
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 29 年度
登録ボランティア数　５名
学校地域コーディネーター　吉野　由紀子

分 類　学習支援

自分のスタイルで進んで学習

～品川地域未来塾【自学教室】～

事業の背景・目的

今まではランチルームを利用して自習スタイルを基本に自学教室を開催していた。しかし、友達と学習したいとの要望があり、生徒が希望するスタイルで学習に取り組むことを目的に、一人で集中して学習したい生徒、友達と学習したい生徒に分けて自学教室を開催した。

事業の概要

年４回実施する定期考査前の自学教室では、各教科の課題や試験範囲の学習を行い、分からない問題は学習支援員に質問して解決していく。夏休みの自学教室では、終わらない宿題に取り組み、夏休み中に宿題を終わらせることを目指す。

特徴および工夫した点

工夫した点は、一人で静かに学習したい生徒には被服室を開放した。また、ランチルームで友達と学習するときは、人に迷惑をかけないようにするというルールを決めた。
友達と学習していても分からないところが同じ場合が多く、学習支援員が効率的に指導できた。全学年の希望する生徒が集まり学習できることも特徴の一つである。

成　果

それぞれにあった学習スタイルで行うことにより参加者が増えた。
友達が頑張っている様子に刺激を受け、進んで課題に取り組む姿勢が見られた。

今後の展望

参加を希望する生徒は増えたが、課題・目的をもって参加する生徒を増やしていきたい。
学習支援員の確保にも努めたい。

児童、生徒の感想

集中して学習できます。友達と一緒に勉強するとやる気が出ます。
友達と一緒に勉強する場所がないので自学教室はとても良いです。
分からないことを学習支援員さんに教えてもらえるのでとても良かったです。

学校紹介
学校名　品川区立戸越台中学校
校長名　栢之間　晃
住所　品川区戸越 1―15―23
電話　03－3781－6250
URL　https://school.cts.ne.jp/togosi-j/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 30 年度
登録ボランティア数　23 名
学校地域コーディネーター　原野　美智子